

議決したおもな事項

市長提案

◎昭和49年度北九州市決算について

	一般会計	特別会計 (国保など22会計)
歳入	1,592億7,599万円	1,198億 259万円
歳出	1,567億6,866万円	1,132億4,547万円
形式収支	25億 732万円	65億5,712万円
実質単年度収支	11億8,807万円	9億 717万円

※ 実質単年度収支とは、形式収支から翌年度へ繰越すべき財源を差引き、さらに前年度実質収支を差引きし、基金積立等を加えたもの。



	企業会計 (上水道など4会計)
収 入	228億6,976万円
支 出	248億1,065万円
補てん財源	12億3,035万円
その他	3,389万円
実質単年度収支	△ 6億7,666万円

- ◎昭和五十年北九州市補正予算について
災害復旧事業費など七億二、六五八万円を追加するもの
- ◎北九州市水道条例の一部改正について
- ◎北九州市下水道条例の一部改正について
- ◎北九州市事務分掌条例の一部改正について
都市計画事業の推進、工事の検査体制の確立等を図るため、都市計画局を新設するなど組織の一部を改正するもの
- ◎北九州市都市計画下水道事業受益者負担に関する条例



9月定例会

昭和49年度決算など79件議決

県立高校新設・地方財政危機打開など決議

九月定例会は、九月十七日から十六日間の会期で開かれ、十月二日に終わりました。

提出された議案は、市長提出の「昭和四十九年度北九州市一般会計決算」をはじめ六十七件と、議員提出の「地方財政危機打開に関する意見書」など十二件です。

いずれも慎重に審議され、市長提出の全議案は、原案どおり認定又は可決、議員提出議案も、すべて原案どおり可決されました。

このほか、任期満了にともなう北九州市・門司区・若松区・戸畑区の選挙管理委員及び同補充員の選挙を行いました。

議員提案

- ◎県立高校(普通科)の新設に関する意見書
人口集中化が著しい、八幡南西部と小倉南東部に高校を新設するよう県に要請するもの
- ◎地方財政危機打開に関する意見書
憂慮すべき事態にある地方財政に対し、超過負担の完全解消等の措置を講ずるよう国に要請するもの
- ◎上水道事業に対する国の財政援助拡大に関する意見書
上水道事業経営の健全化を図るため、国庫補助の拡大・起債条件の緩和等の措置を国に要請するもの
- ◎中小企業の不況対策に関する意見書
「暮らせる年金」実現に関する意見書
インフレ不況のもとでの、老後不安や不慮の災害事故による生活破壊の不安などを解消するため、年金額の改善などを図るよう国に要請するもの
- ◎北九州市議会委員会条例の一部を改正する条例
- ◎付加価値税の創設反対に関する意見書
- ◎学級編制及び教職員配置等の改善に関する意見書
- ◎水資源確保に関する意見書
- ◎酒、たばこ、郵便料金値上げ反対に関する意見書
- ◎農地の「宅地並み課税」反対に関する意見書
- ◎個人が拠出する政治資金に対する税制上の優遇措置の対象範囲拡大に関する意見書



質疑応答

水道料金の改正

をめぐって

九月十七日から三日間
本会議で十六人の議員が
議案に対する質疑や市政
に対する質問を行いました。
その中から主なものを
取り上げました。

値上げの理由は

議員 料金値上げが必要になつた理由を説明してください。
また、これまで値上げをさけるために、どのような措置を講じてきたのですか。

水道局長 今回の値上げは、昭和五十三年度末までの財政収支をみて、その資金不足をうめるために行うものです。

現在の料金は、昭和四十七年四月に定められたものですが、昭和四十八年末のオイルショック以後、諸物価が高騰し、特に動力費、原材料費、工事請負費、人件費などの支出が大幅に増加したため、財政状況が急激に悪化し、本年度末には二十億円を越える資金不足が見込まれる事態となっております。

さらに、来年度以降におきましても、新しい水資源の開発や施設

一般家庭に配慮を

議員 料金改定にあたって、一般家庭や個人商店、公衆浴場などに対して、料金の軽減を図るような措置は講じてありますか。

水道局長 料金改定率は、平均九十・七パーセントとなっておりますが、一般家庭や個人商店に対しては、消費生活への影響を



漏水パトロール

考慮いたしまして、必要最少限度の改定にとどめ、大口消費者に対しては、傾斜的に高負担をお願いするというような配慮をいたしております。

漏水防止は万全か

議員 取水・浄化などに、多額の経費を費やした貴重な水が、他都市と比べて多量に漏水して

ますが、どんな原因によるのですか。また、漏水防止の実績についても年々、解消される率が低すぎるように思われますが、漏水防止対策は、十分に図られていますか。

水道局長 ご指摘のとおり、他都市と比べ漏水量が多くなつてお

りますが、これは本市水道の配水管に、明治・大正時代に布設された老朽管がかなりあることと、本市の地形が起伏に富んでいるため、市内の各所において必要以上に高い水圧が、配水管に加わっているためです。

漏水防止対策については、昨年度まで、市内全域を対象とした簡易音聴調査を行って、不良箇所

の改修や老朽管の取り替えなどを行ってまいりましたが、この方法だけでは、目立った効果が得られなくなりましてので、本年度からはさらに精密な音聴調査を行うとともに、水圧の調整を図って漏水防止に努めているところで

延ばせないか

水源開発

議員 多大な資金を必要とする水資源の開発計画を先に延ばして市民の料金負担を軽減することはできませんか。

また、補助金の大幅増額などについて、国に対し強力に働きかけるべきではありませんか。

水道局長 水資源の開発には、長い年月を必要とするため、早目に着手しないと需給のバランスが図れなくなり、十分な供給ができなくなる恐れがあり、計画を遅らせることはできません。

国に対しては、補助金の拡大、企業債の長期低利なものへの借り替えなどについて、再三強力に要請を行っております。本問題につきましても、他都市とも十分な連

いを取り、今後も強力に働きかけていく考えであります。

増額できないか 繰り出し金

議員 料金値上げを抑えるために、一般会計からの繰り出しを、大幅に増額することはできませんか。

市長 水道事業の経営は、法律によって独立採算制をとるよう定められており、原則的には料金収入でまかなわなければならないことになって

います。しかし、事業の安定した経営を図るため、一般会計からも制度上認められるものについては、限度いっぱい繰り出しており、今後も行っていく考えです。

下水処理水の 活用を

議員 現在の水事情を考えると今後、工業用水の確保には制約を受けることが予想されますが、下水道の普及にともなう増加する下水処理水を工業用水として、再利用する考えはありませんか。

市長 下水処理水の再利用については、現在、東京都において基礎的な調査研究が進められていますが、採算面でもまだ問題があり実用化のめどがたっておりません。しかしながら、研究が進み実際に利用できる結果が得られれば、本市としても、即刻、工業用水として活用を図りたいと考えています。

超過負担解消を

議員 国庫補助事業における超過負担解消対策はどうなっていますか。

市長 超過負担は地方財政逼迫の一つの原因でもあります。これに重点をおいて、補助単価の改正及び補助対象範囲の拡大等について改善措置を講ずるよう国に対して強力に働きかけているところです。

市議会におかれましても、この点についてなお一層のご協力をお願いいたします。

自主財源の拡充を

議員 自主財源が、前年度に比べ、二・四パーセントの減になっていますが、どうですか。

市長 自主財源の割合が低いのは各大都市の傾向ですが、本市は他の政令都市と較べても、低い状態です。

これは本市の産業都市としての相対的な地位の低下を反映した結果によるものですが、市税等の自主財源の拡充についてはもちろん、地方交付税、地方譲与税等使途を拘束されない、いわゆる一般財源についても充実をはかるために、全国市長会等を通じて、国へ働きかけているところです。

四十九年度においては、法人市民税率の大幅引き上げ等、少しずつ成果があがって来ております。

生活関連事業の執行は

議員 総需要抑制策の影響で、生活関連事業の一部を取りやめた

のではありませんか。

市長 総需要抑制策のために一部の事業をくりのべましたが、福祉関連事業費については、依然として非常な伸びを示しており、一般会計に占める割合もふえています。

事業の一部がくりのべられたために、市民生活が阻害されたとは決算に関する限り言えないと思います。

財政の見通しは

議員 全国的に地方財政の危機がいわれていますが、本市の状況、また今後の見通しはどうですか。

市長 財政硬化化が深刻になっているとはいえ、全国の自治体の中では、本市は健全な基調を保っている財政構造だといえます。

しかし、今年度はなんとか切りぬけるにしても、今年の不況が来年度の税収等に多大な影響を及ぼします。来年度以降の財政運営については、予断を許さない情勢です。

財政運営については、情勢の変化に適応した機敏な措置を講ずるよう常に心がけております。

産廃処理を安全に

議員 市内の中小メッキ工場の廃棄物処理については、市において安全な投棄方法や場所をあっせん指導する考えはありますか。

また直接市が処理する方法を検討してはどうですか。

市長 メッキ工場の廃棄物処理

については、事業者が単独で処理をするのはいろいろな難しい問題があると思われましますので、経費は事業者に自分の負担をお願いしますが、市でまとめて処理をする必要があると思います。

ただいま、六価クロムの安全な処理方法を山口大工学部へ調査委託しており、早急に処理体制を整えてまいりたいと思います。

次に全体の産業廃棄物処理についてですが、県が来年度中に処理計画を立てますので、北九州市分は本市自身が立案し、県の計画に組入れてもらい、将来にわたり本市の安全処理計画を立てたいと思います。

父母負担を軽く

議員 義務教育における父母負担軽減について「学校標準運営費」制度が四年計画で発足しましたが、実際には学校納入金はほとんど減っておりません。なぜですか。

また、四年計画を短縮する考えはありますか。

教育長 各学校で徴収している経費内容が複雑でありますので、とりあえず五十年度は、図書費の徴収をやめること、PTA予算の内、学校援助金の部分を五割以上減額することとし、その他の学校徴収金も必要最小限にとどめるよう指導してまいります。

五十一年度以降は、各学校の徴収金を整理していただき公費負担分を明確にしてまいりたいと思います。

次に四年計画短縮の件ですが、異なる徴収金を計画的に整理する必要があり、一気に実施しましても学校運営自体に混乱をまねく恐れがあります。他都市も四年程度で実施しておりますので、現在の財政事情も考慮していただき、四年計画でご了承下さい。



がんばれ

「シルバースティ」

議員 「シルバースティプラン」すなわち老人のための明るい町づくり推進事業計画が厚生省より発表されましたが、本市においてはどのように推進し、また今後の計画にどのような案をもっているのかお尋ねします。

市長 八幡西区が「シルバースティ」の指定を受けましたが、これは地域住民が自発的に老人に生きがいを与えるような町づくりを行うことが本来の目的であります。

ので、あらかじめ何かの計画を行う政側が押しすすめ、住民に参加してもらおうという姿ではありません。

地元の推進協議会を中心として住民が主導権をとり、それに市がお手伝いをする形で実行してまいりたいと思います。

ですから、市の推進方法や計画案は協議会の方針が出た後に決定し、発表したいと思います。

高値安定では

議員 中央卸売市場建設に多額の経費を費やしたため使用料が高くなる心配があり、使用料が高くなれば食品価格にも影響を及ぼすと思われまします。実態はどうですか。

市長 多額の建設費によって使用料が高くなり、さらに食料品価格に転嫁される心配はありません。

それは、使用料収入だけで建設費の元利償還を全て行う考えはありませんし、使用料金額決定につきましては、他都市の市場使用料を勘案して同じレベルで決定されているからです。

いつできる「太陽の家」

議員 五十年年度設立をめざす福祉工場設立計画は、どのように進展していますか。

民生局長 別府市にある身障者福祉工場「太陽の家」の分工場を本市に誘致するにあたり、現授産所との関係等の問題がありますが、近々設立準備委員会の発足を予定しており、五十一年度から着したいと思っております。

決算特別委員会の審査から

決算特別委員会は、三つの分科会に分れ、九月二十日から六日間にわたって開かれました。

この委員会では、昭和四十九年度予算の執行状況、行政効果などを慎重に審議するとともに、今後の行政の進め方について、活発な質疑応答が行われました。

この中から委員会のおもだった要望を各分科会別に取り上げてみました。

財政

○産業用電気税の非課税措置の撤廃方を、国に対し強力に要請すること。

第一分科会

消防

○市民に対する防災意識の高揚については、地域と連けいを保ちながら、積極的に取り組むこと。

○道路上に常時、車両が駐車して

病院

○市立病院のごみ等の廃棄物焼却による悪臭について、周辺の住民に迷惑がからぬよう、処理方法の改善について検討すること。

経済

○農地のスプロール化、住宅建設の増加などによって、農業用水路の汚濁が著しく進んでいるので、早急に汚濁対策を図ること。

港湾

○新門司開発による、工場立地が進んでいるが、市街地への連絡道路は、車線の狭い門司市田線しか



ないので、幹線五号線及び関連道路の整備を早急に図ること。

第三分科会

建築

○建築工事の契約にあたっては、できるだけ多くの業者に、工事の発注をするよう図ること。

○建替計画のある市営住宅の空き家は、長い間、放置することなく、早急に取りこわすこと。

○高層市営住宅の防火避難対策については、実情をよく知っている居住者の意見を十分参しゃくし、万全を期すこと。

建設

○建設工事の契約にあたっては、できるだけ多くの業者に、工事の発注をするよう図ること。

○建替計画のある市営住宅の空き家は、長い間、放置することなく、早急に取りこわすこと。

○高層市営住宅の防火避難対策については、実情をよく知っている居住者の意見を十分参しゃくし、万全を期すこと。

人事紹介

九月定例会で次のかたがたが決まりました。(敬称略)

北九州市教育委員会

委員

今村千代子

北九州市選挙管理委員会

委員

白石 雅樹・毛利 昭子

二村 正己・大熊 徳郎

補充員

千代丸頼光・吉田 茂

伊豆 武・松浦 俊

北九州市門司区選挙管理委員会

委員

神田 三男・平田 貞生

鬼塚 早人・神田 亀夫

補充員

道原 勝人・石上 登

稲田 伸夫・篠原 助作

北九州市若松区選挙管理委員会

委員

山本 竹義・裏 輝雄

柴田 義蔭・松田 伍郎

補充員

松本 興英・大貝 一男

葉山正次郎・太田 市良

北九州市戸畑区選挙管理委員会

委員

浅木 健吾・田村 静子

福山 帝・宗雪 博芳

補充員

永井 繁雄・井手 寅見

竹内 都・内山 敏郎

常任委員会の審査から

各常任委員会は九月三十日から二日間開かれ、市長提案による昭和五十年一般会計・特別会計の補正予算、水道条例の一部改正など三十七議案を審議しました。

特に、民生水道委員会で、水道条例の一部を改正する条例案に対して、修正案が二件提案され、活発な論議がかわされましたが、慎重に審議した結果、市長提案の原案が可決されました。

なお、上水道事業経営の厳しい現状を打開し、経営の健全化と市民への長期的安定供給を図るためには、国、地方自治体及び地域住

民の一体となった理解と協力が必要であることを認識し

。高料金となる最大の原因が、資本費の高騰にあることにかんがみ、国に対し上水道事業に対する国庫補助金の補助対象の拡大、補助率の引き上げ、企業債の発行条件の改善、更には高料金水道に対する財政援助の強化等について、強く働きかけること

。高台を含む未給水地域の解消、給水不良地域の解消に積極的

に取組み、市民サービスの強化を図ること

。市民に対し、上水道事業の現状を正しく認識させるとともに節水による需要抑制と、有効かつ合理的な利用について十分な理解と協力を積極的に求めること

などの要望がありました。

また、建設交通委員会では下水道関係で

。農地については受益者負担金の徴収を猶予すること

。宅地内の排水設備の助成措置及び水洗化に対する貸付金の増額を検討すること

などの要望がありました。

公害対策

○公害病患者の機能回復に十分役立つような効果的な保健福祉事業の推進を図ること。

第二分科会